



SANSHIN GROUP
Monthly Report on the
ESG Mar.2019

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

TOP MESSAGE

韓国では、PM2.5による大気汚染問題が深刻化している。その要因として、韓国の見解は、中国からPM2.5が飛来しているため、としているようである。一方、中国は、それを認めておらず、両国の関係悪化の一因になっているようだ。環境問題の因果関係は政治的関係もはらみ、その対応が大変難しいものであることが分かる。いずれの問題にせよ、一方的な論調や決めつけは望ましくなく、客観的な問題の特定と、解決に向けて協調して手を取り合う事以外ないのである。

サンシングループ
代表取締役社長
石井 宏宗

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

先日、大変混雑していてお店の方が四苦八苦しているコンビニで買い物する機会がありました。早ければ来年からコンビニでもレジ袋が有料になるということですがスーパーと違い、袋詰めするスペースがないコンビニでは更に混雑を巻き起こすのではと余計な心配が頭をよぎりました。労働環境・自然環境を意識した24時間営業の見直しも含め、便利さだけに目を向けるのではなく、お店を利用する側としてこちらからも出来ることを考えなければならないなと思いました。(H.K.)

SANSHINCentre

寒い！暑い！怠い！眠い！？年のせい？
桜も満開！
...元気が出てきました。(S.W.)

CSI

CSIでは毎年環境保護を目的に植林を行っております。今年も行う予定ですが、まず場所と時期の選定（どこの場所が必要とされ、空いているか）の確認作業からおこないます。今年もマングローブの植林を行う予定です。(K.S.)

SC2

スバルで大規模リコール。原因は車内清掃用品や化粧品類などから揮発するシリコンガスの影響で接点部に絶縁被膜が生成され、導通不良となることだという。つまりは本欄で再三触れている人工香料が原因。車のトラブルは即人命に関わる。それでも香りをつけますか？と、改めて聞きたいものだ。(M.I.)

SANSHINWest

インクカートリッジの国内年間消費量は約2億個。メーカー回収率は10%以下が現状。プリントメーカー5社は回収したカートリッジ1個あたり3円を国連環境計画（UNEP）に寄付。これは環境保護活動に役立てられています。捨てずに回収を依頼しましょう。(N.K.)

SHINKOWA

近所のスーパーマーケットで、今まで無料であった買い物ビニール袋が、有料になっておりました。資源の無駄を無くす為にも良い事だと感じております。買い物時には、今までためたビニール袋の持参を忘れないようにしています。(M.N.)

SANSHIN HongKong

Environmental problem now is a big issue all over the world. Municipal solid waste charging will be start in the second half of 2019 in HK. Looking forward that HK government can develop a recycle system just like Taiwan and Japan to reduce rubbish. (S.M.)

SFS

水仕事で指先全部が裂けていたこの冬（痛）合成洗剤が原因なので色々試した結果、「とれる№1」という、米ぬか・ふすま由来で発酵系の商品が最高に良かったのでご紹介です。「地球洗い隊」というサイトで買えます。食器洗剤としては、粉末のほうを選んでください。入浴剤としても使えます♪(M.I.)

ESG Report (品質)

TOPICS

習慣化に必要な「目標を書き出すこと」

何かを成し遂げるために必要なことは実は「書き出すこと」である。つまり大切なことは基本に戻ることである。「書き出すこと」で、より生産的に、より効率的になれる。（目標を）書き出すことは、常に目標を明確にしておくためにとても重要な「ミッション」です。

毎週、5つの目標を書き出す

手当たり次第に新しいアイデアを考える時間を取る。それらは将来のビジネスアイデアかもしれないし、決して実行することのないでたらめな計画かもしれない。その中で達成したい目標を25個に絞るようにし、そして最も重要なもの5つに印をつけるとする。

毎日の目標を決める

長期間、例えば1年を通して達成したい「大きな」目標があるとする。そしたら毎日その目標を書き出し、常に意識するようにすることで、日々の意思決定に確実に反映されるようにする。

次に、翌日の準備として、終わらせたい小さな仕事を3つ設定する。

タスクを書き写すだけであってもこれをやっておけば、何をすべきかを正確に把握した状態で朝、目を覚ますことになり、朝の忙しい時間を無駄に過ごすことがなくなります。

毎日の反省を書き留める

毎日、目標の振り返りを行っている。**1日の中からうまく行ったことを3つ書き出す。**

「小さな勝利」が目標達成に重要であり、「成功」に注力することでマインドセットが改善され、生産性が向上するのだという。

1日を振り返り、自分の行動を見直すことにつながるので、今まで気づかなかったユニークな気づきを得ることができるでしょう。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

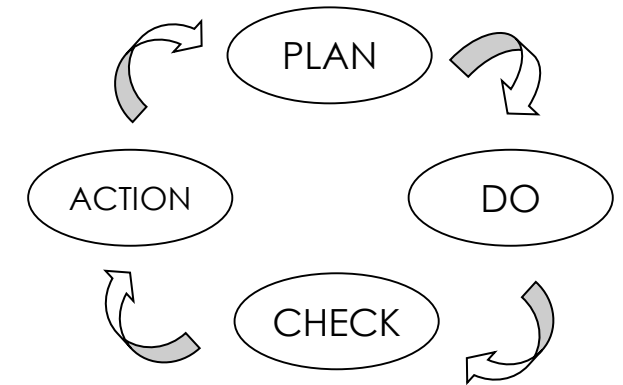
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



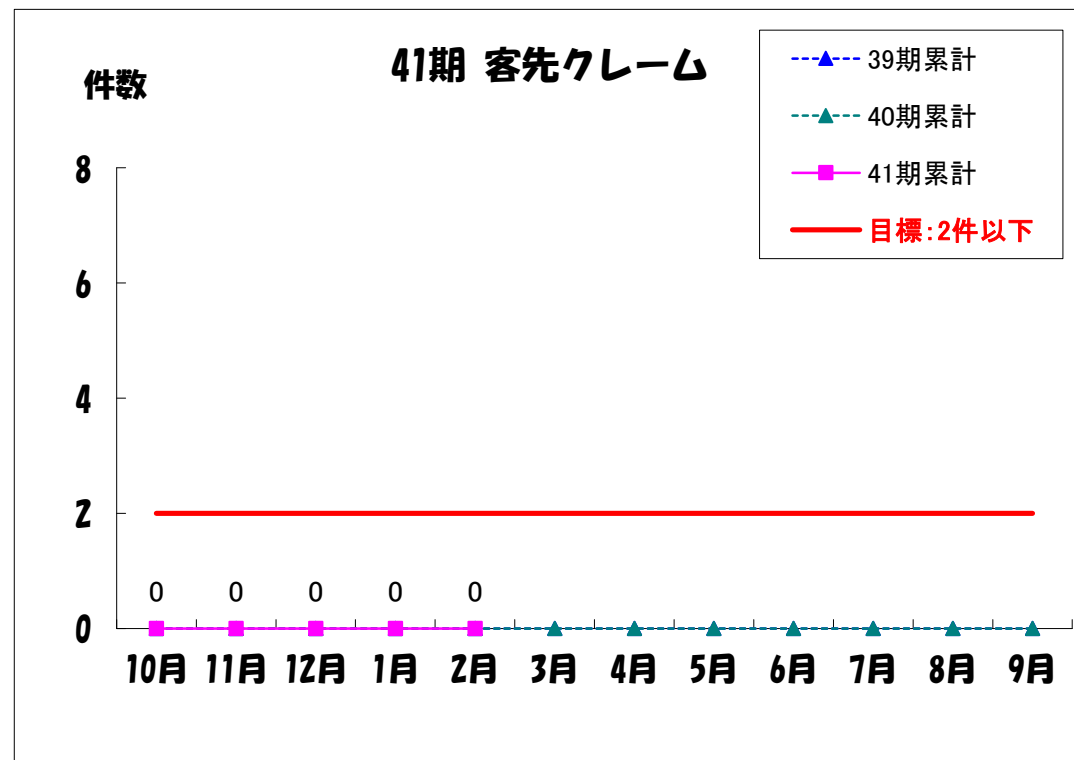
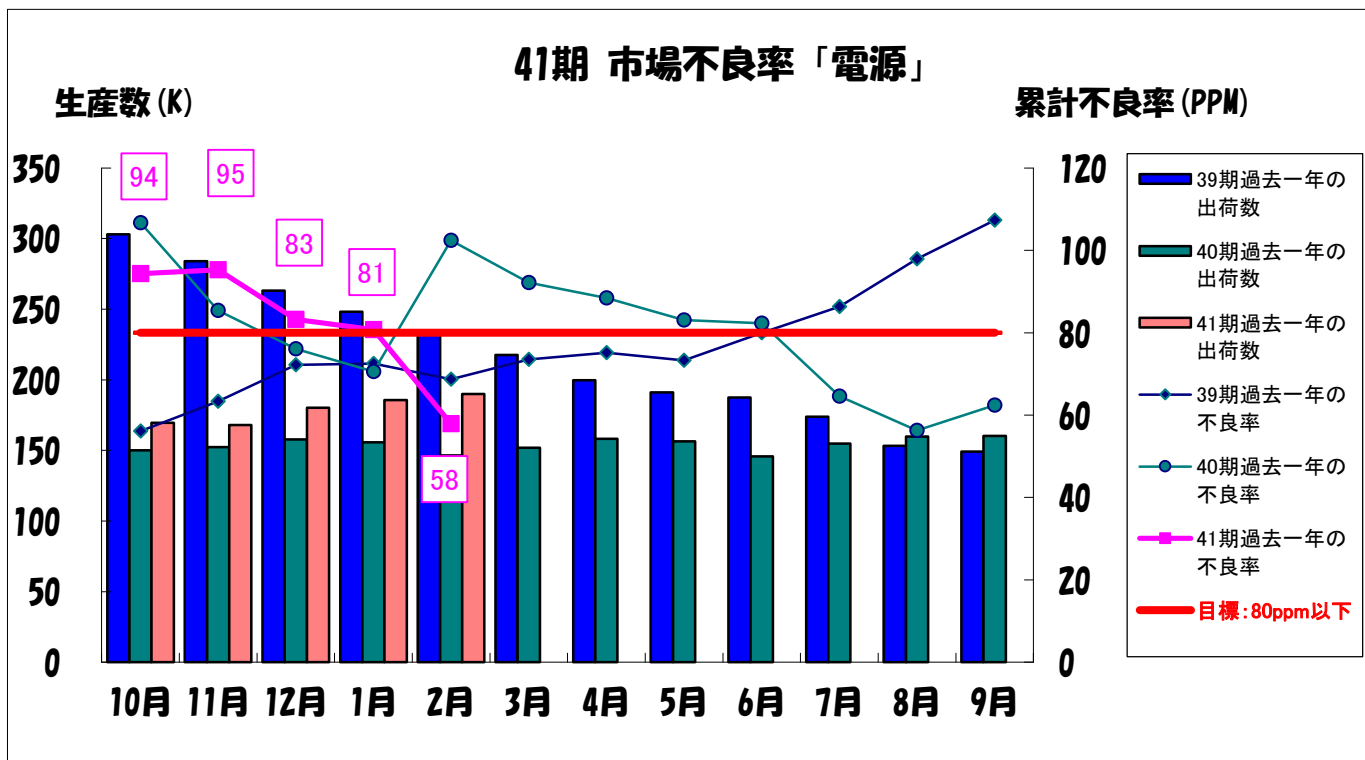
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

41期の累計不良率は、58ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 11件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ 「持続可能な開発目標」をダイバーシティ経営でビジネスに活かす方法

先月のTopicsではSDGsとは何か？17の目標と169のターゲットなど、SDGsの概要について取り上げました。今月はSDGsとビジネスの関わりについて取り上げてみたいと思います。持続可能な社会をつくり、企業価値の向上につなげていく「攻めのCSR」という観点から、ダイバーシティ戦略にSDGsを活用する方法を取り上げます。

☑ ビジネスチャンスとしてのSDGs

SDGsにおいて、政府だけでなく、民間企業、市民、研究機関など、各方面の多くの人々の参画のもとで、社会課題を2030年までに解決していく合意が国際的に得られました。SDGsはビジネスの「共通言語」として使える点で注目に値します。

ここ数年の経営環境において、持続可能性を意識したサステナブル経営や、環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance）に配慮している企業を重視・選別する「ESG投資」の流れが強まっており、SDGsが採択されたことをきっかけに、企業においても、社会的な課題解決が事業機会を生み出す形が広まりつつあります。企業は「国連から降りてきた目標」として受け身に捉えるのではなく、「大きなビジネスチャンス」として積極的に取り組むことが重要です。

企業はSDGsをCSV（共有価値の創造、Creating Shared Value）の機会と考え、17の目標に能動的に関わり、将来のビジネスチャンスの核がないか、あるいは将来のリスク管理に役立つ領域がないかをまず社内で検討することができます。もはや「うちの企業は関係ない」とは言えなくなったSDGsに、企業はどう取り組んでいくべきでしょうか。企業には義務が与えられているわけではなく、社会課題の解決を通して、目標達成への自主的な貢献が期待されています。

日本ではまだ一部の大手企業を中心に、CSR報告書等でSDGsに言及している段階ですが、今後は事業の取り組みとの関連づけや、自社にとってのバリューチェーン上での影響のマッピングを基にした具体的な取り組みが加速していくことが予想されます。

今月のTOPICS

☑ ダイバーシティ経営とSDGsの関係

では、1人ひとりの違いを企業の競争優位性につなげていくダイバーシティ経営とSDGsとは、どのような関係にあるのでしょうか。職場におけるダイバーシティ&インクルージョンを実現することは、下記の7つの目標に直接的または間接的に貢献すると考えられます。



目標1：あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



目標3：あらゆる年齢のすべて人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



目標4：すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



目標5：ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う



目標8：包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する



目標10：各国内及び各国間の不平等を是正する



目標16：持続可能な開発のための平和で包括的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度を構築する

今月のTOPICS

たとえば、目標5「ジェンダー平等」はダイバーシティ経営における女性活躍推進とダイレクトに結びついていて、関連がわかりやすい目標です。目標3「健康と福祉」は健康経営と関係し、目標10「不平等の是正」は企業が取り組むべき人権課題全般に当てはまります。

ここで、マイナスの影響は他のマイナス要素に連鎖し、プラスの影響も他のプラス要素に連鎖する点にも注目です。男女の賃金格差のある職場があったとします。これ自体は目標5「ジェンダー平等」の問題ですが、格差が大きく、女性の貧困が目立つなら、目標1「貧困」の問題にもなります。

また、障害者の雇用が進まない職場やLGBTが働きにくい職場が増加した場合、目標8「働きがい・経済成長」に関わる課題とみなすこともできますが、働きにくさが失業率に結び付いた場合、究極的には目標1「貧困」の問題につながります。実際、トランスジェンダーが性別を理由に就職活動自体から排除されたり、職場で受け入れられず配置転換されたり、解雇されてしまうというような悲惨なケースもあり、貧困の一因にもなっています。多様性を受容するインクルーシブな職場づくりは、LGBTにかぎらず誰にとっても貧困の課題解決に直結するのです。

それぞれの課題解決を考える際に、その解決が「負の影響の最小化」につながるのか、「正の影響の強化」につながるのか、意識すると課題を整理しやすくなります。

競争戦略としてのダイバーシティ経営は、「働きにくさによる離職の防止」「本来の自分を隠すことによるパフォーマンス低下の抑止」など、マイナスの影響をゼロにする課題解決がベースにあって、それが実現できて初めて「イノベーションの源泉」という本来の目的を見据えることができます。

人材マネジメントにおけるダイバーシティ&インクルージョンに限らず、顧客や消費者のダイバーシティ&インクルージョンを考えると、貢献できる目標の領域はさらに広がり、SDGsは社会の課題解決と事業の成長を両立させるビジョンの指針として活用できるのです。

SDGsの目標17に「パートナーシップで目標達成」とあります。SDGsはある特定の国や地域、企業や個人だけで成し遂げられるものではなく、互いにポジティブに影響しあうことで、世界の変革は進んでいきます。ダイバーシティ経営の推進は、SDGsの中で特に「人」に関するあらゆる目標の達成につながります。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

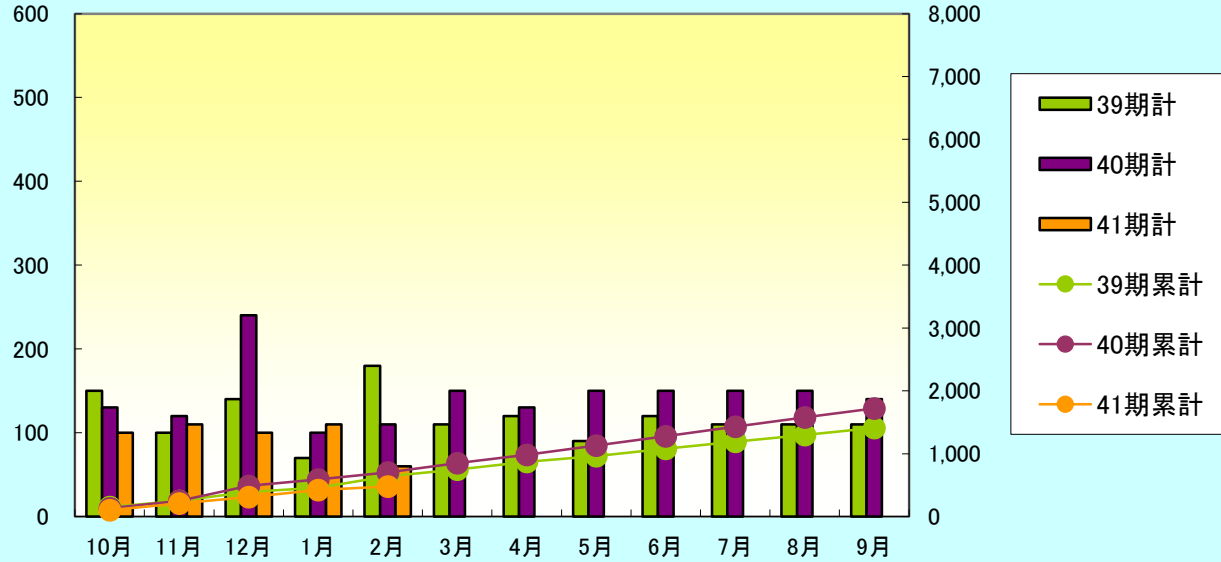
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



一般廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kg)

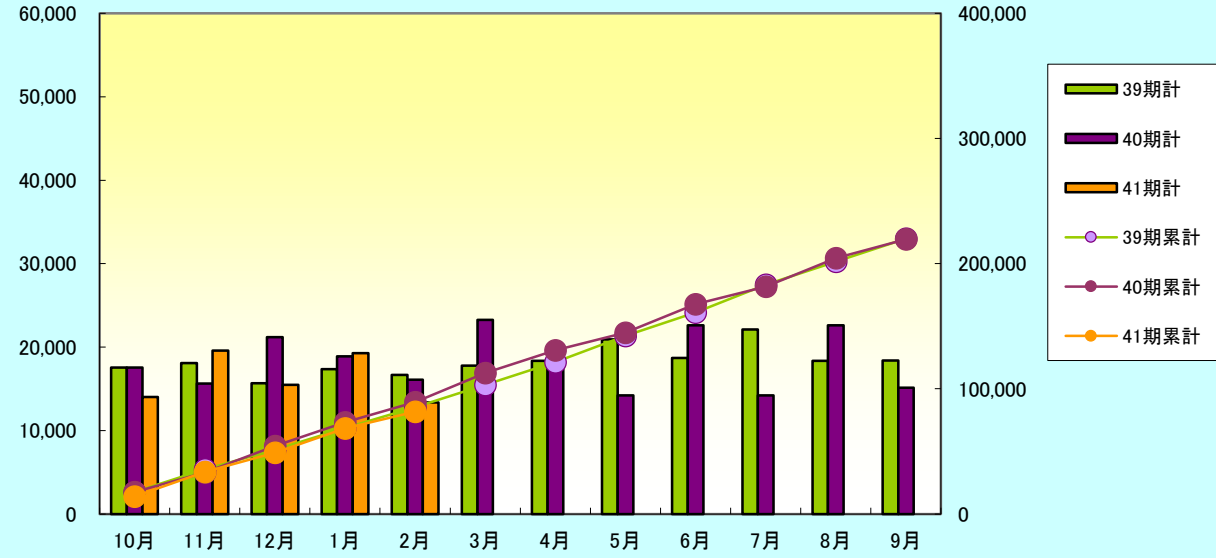
累計/折れ線(kg)



廃棄物処理金額累計

月次/棒グラフ(円)

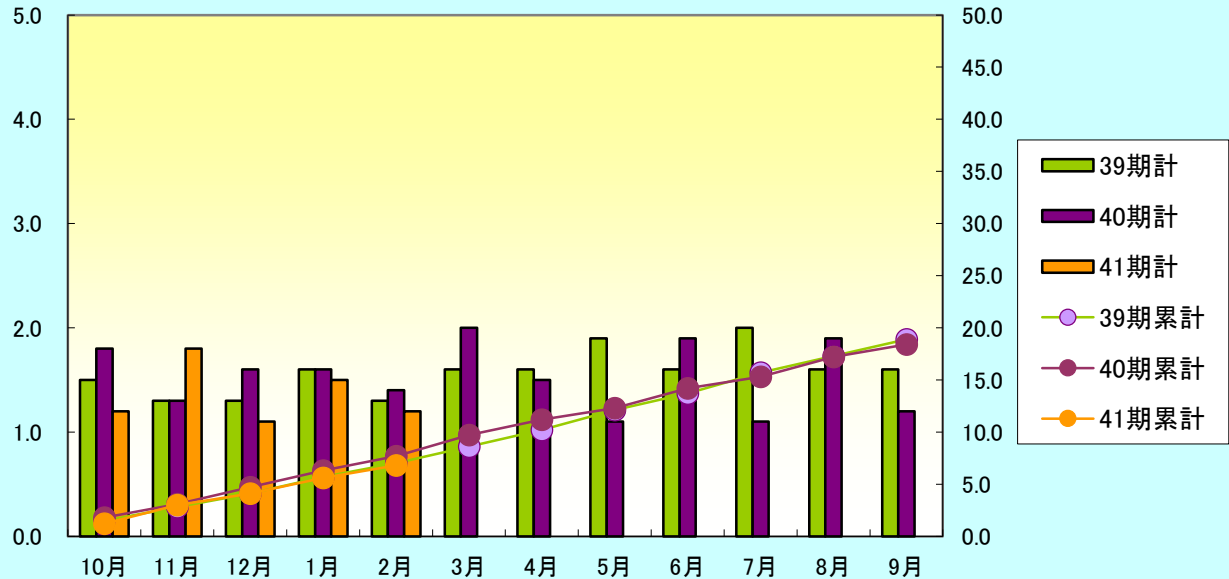
累計/折れ線(円)



一般産業廃棄物(SSD/本社)

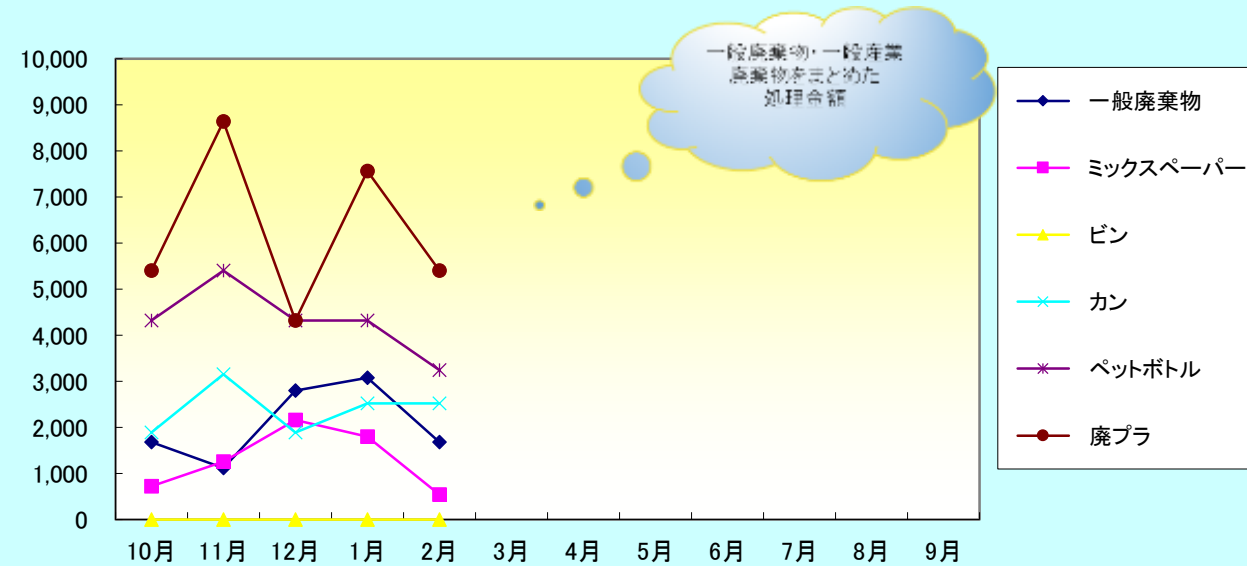
月次/棒グラフ(m³)

累計/折れ線(m³)



41期 廃棄物処理金額

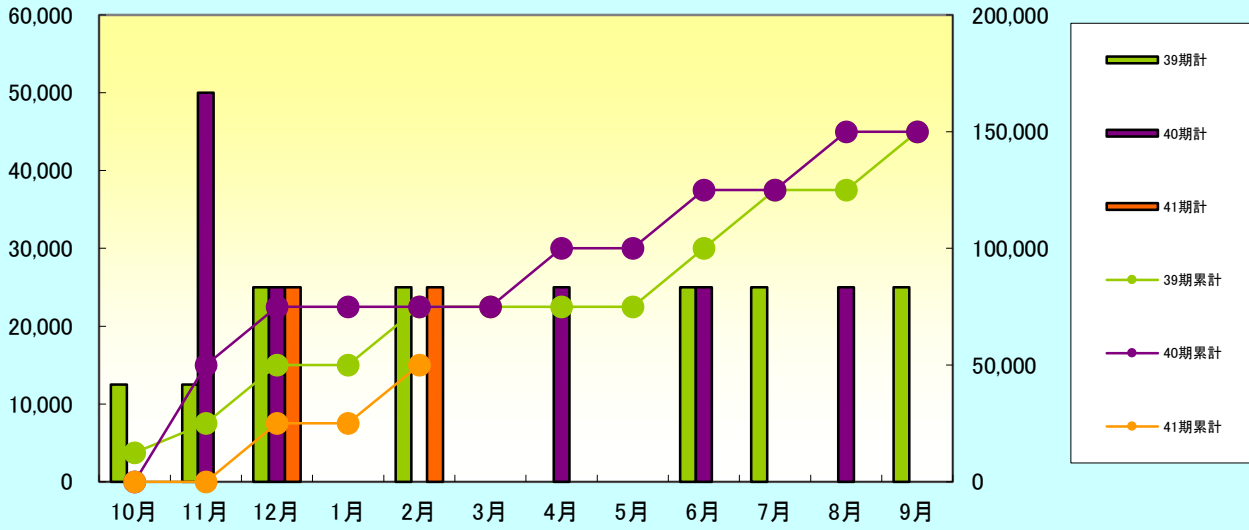
(円)



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

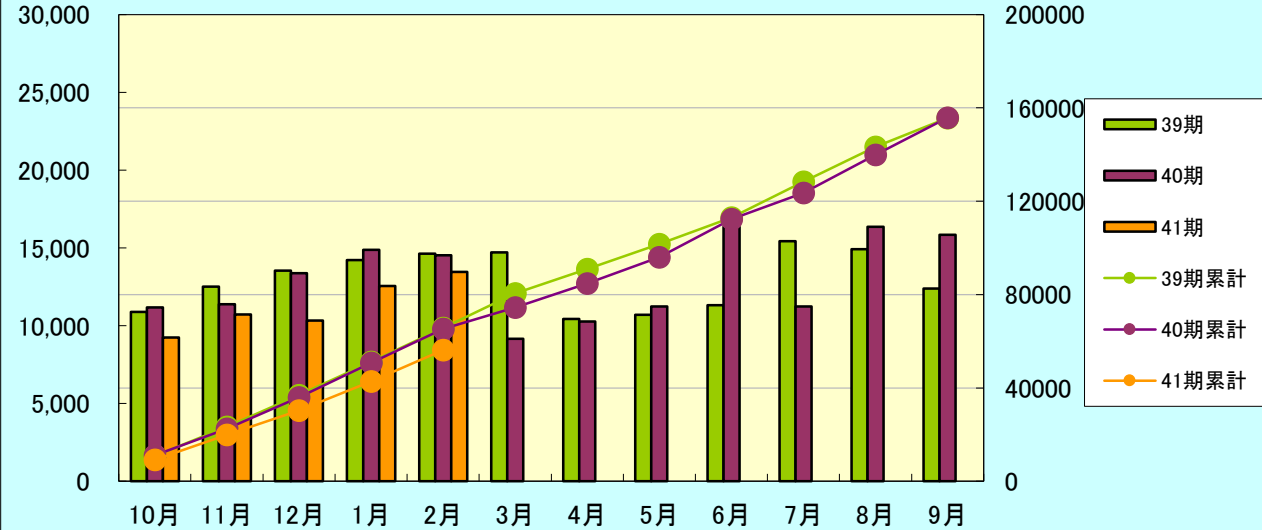
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

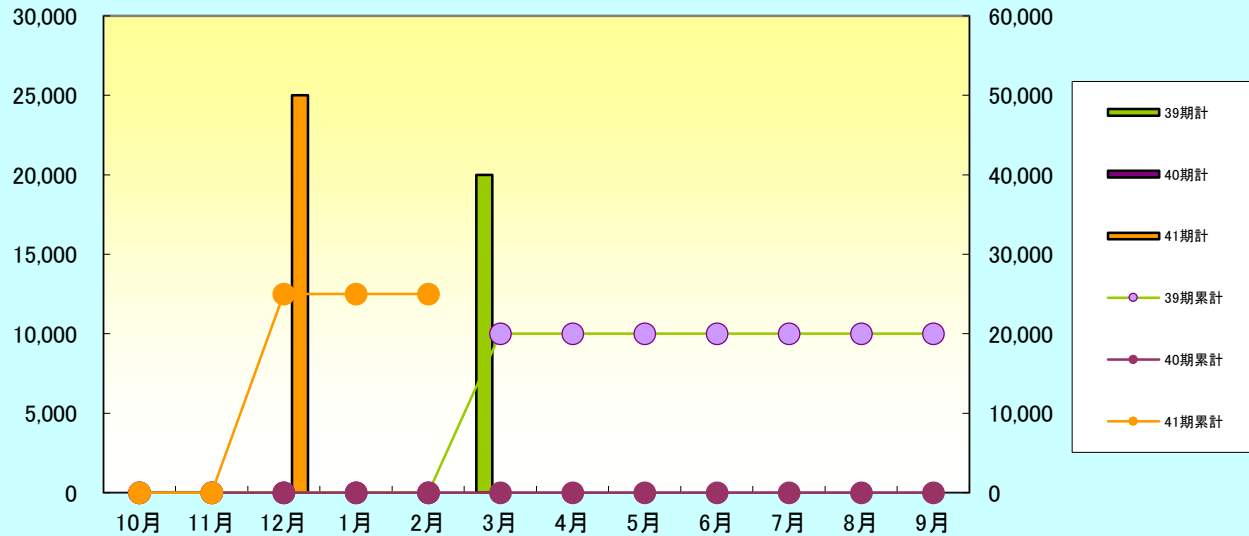
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

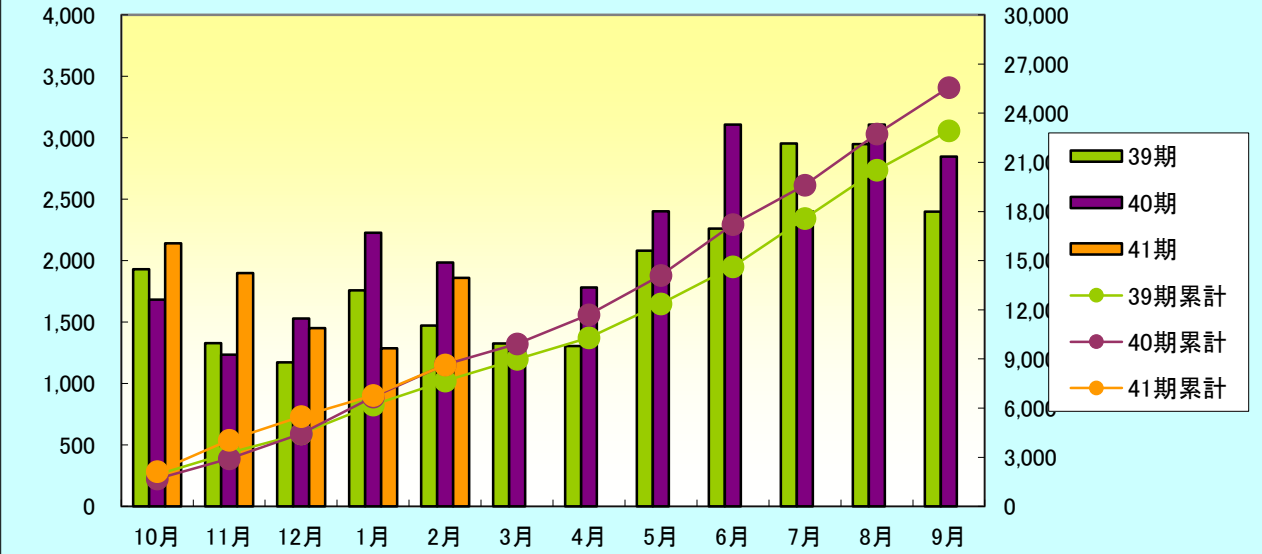
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

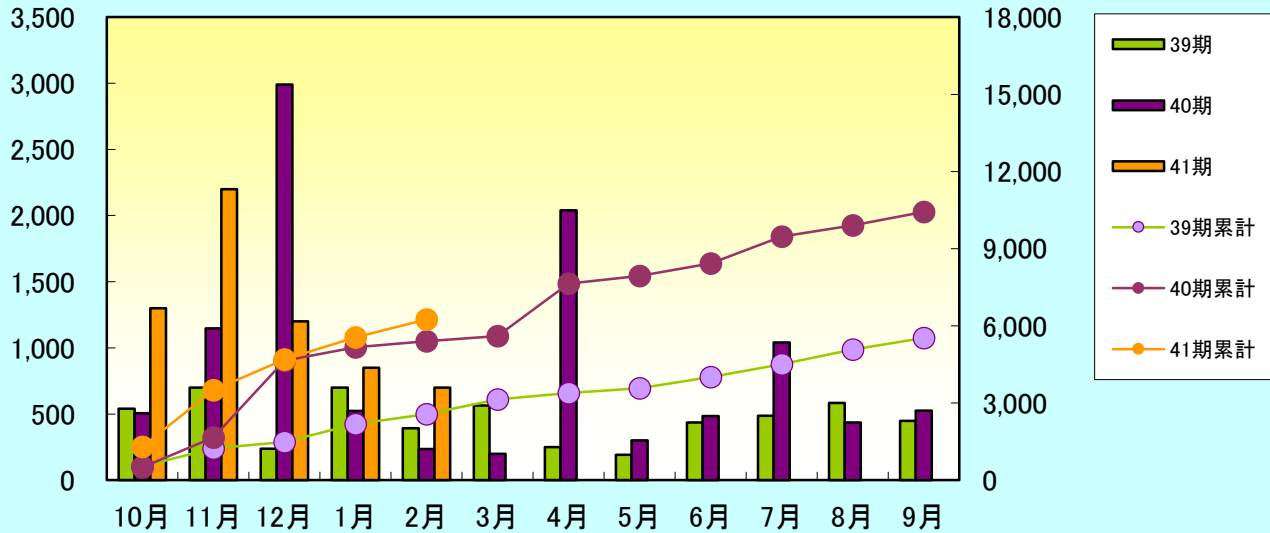
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

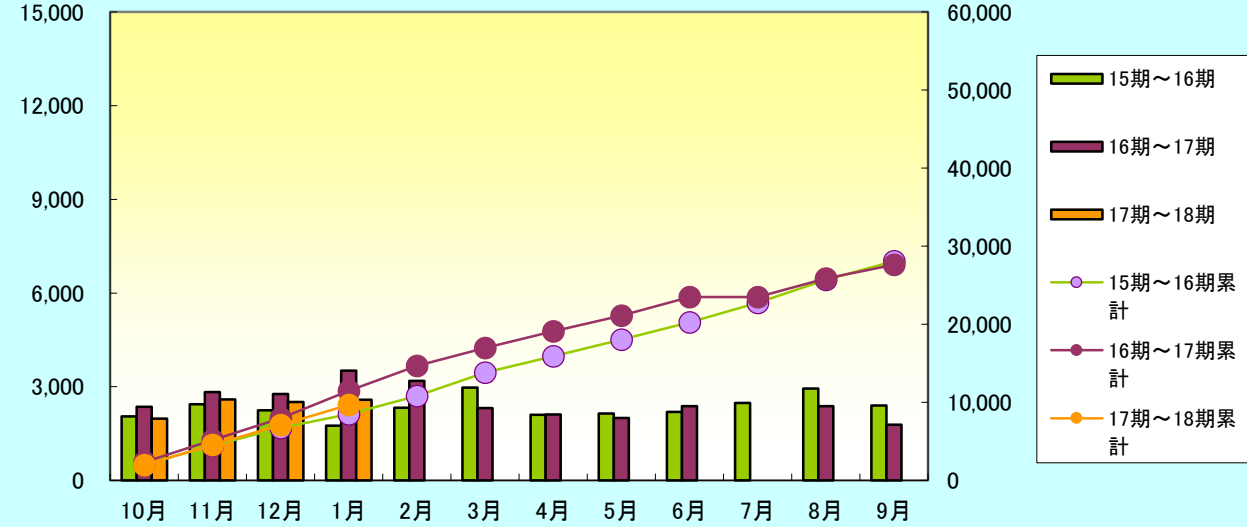
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

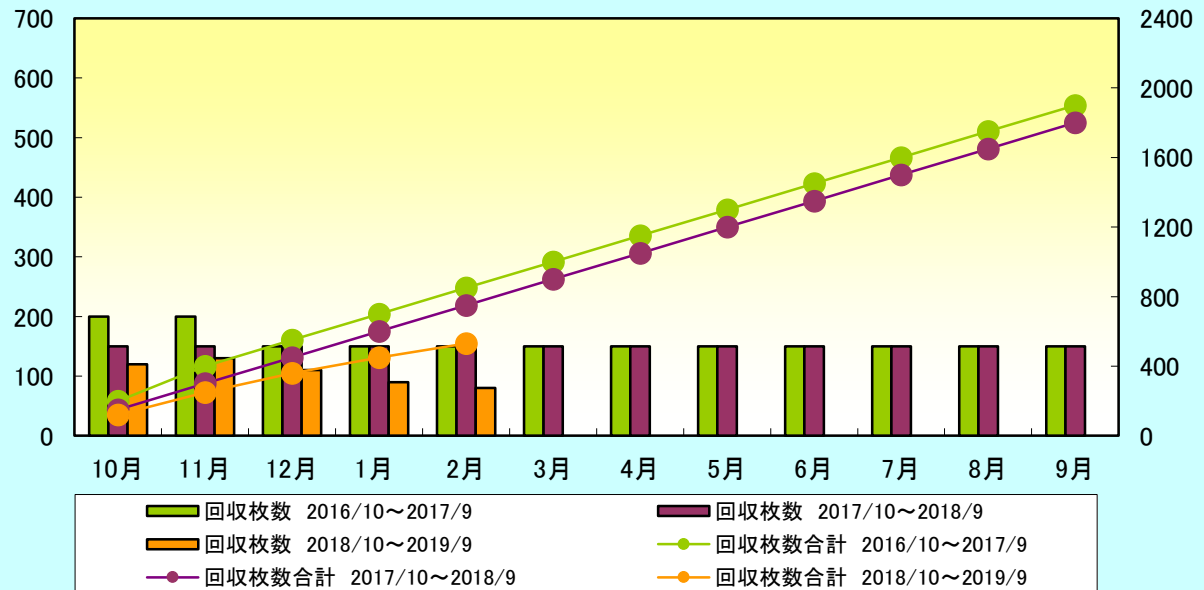
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

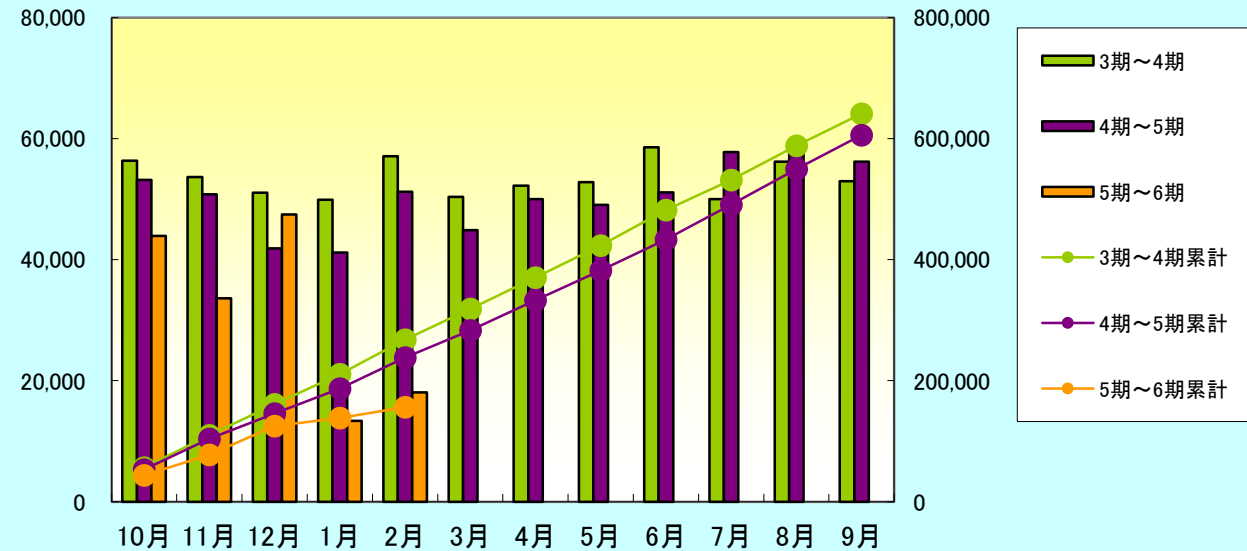
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

● 「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」認定の新しい取り組みについて

「ESG Report 2019年2月号」にてご案内の通り、サンシン電気（株）は、経済産業省と日本健康会議より、3年連続で「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」の認定を受けました。

2019年の認定に向けた新たな取り組みの一つとして、“食生活の改善に向けた取り組み”を行いました。具体的には、社内に設置している飲料の自動販売機の各商品ごとにカロリーを表示し、社員がドリンクを購入する際、カロリーを確認出来るようにしました。また、お取引先様から頂いた健康ドリンクを全社員に配布するなど、ひとりひとりが自身の健康を意識し、ヘルスリテラシーの向上を促す取り組みも行っています。

これからも全社で継続して、お互いの心身の健康を気遣う職場づくりに努め、健康経営※を推進して参ります。

※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



2019
健康経営優良法人
Health and productivity

活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（2月参加人数：延べ11名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（シグマ・フード・サービス）
- 動物介在ボランティア活動実施（シグマ・フード・サービス）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：桜

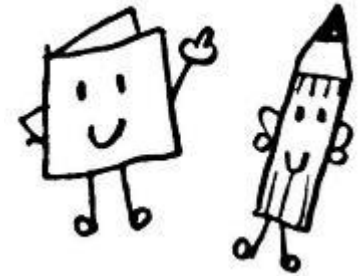


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 2ヶ月に1回、マッサージ・リフレクソロジーサービスを実施（女性を中心に10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2018年5月更新）
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」の認定取得（2019年2月）⇒3年連続！
- 東京都より「平成30年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「平成30年度スポーツエールカンパニー」の認定2年連続取得（2017年・2018年）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・英会話・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAを全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能



サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers

We're loved by our customers

*Always be a Virtuous **Shonin***

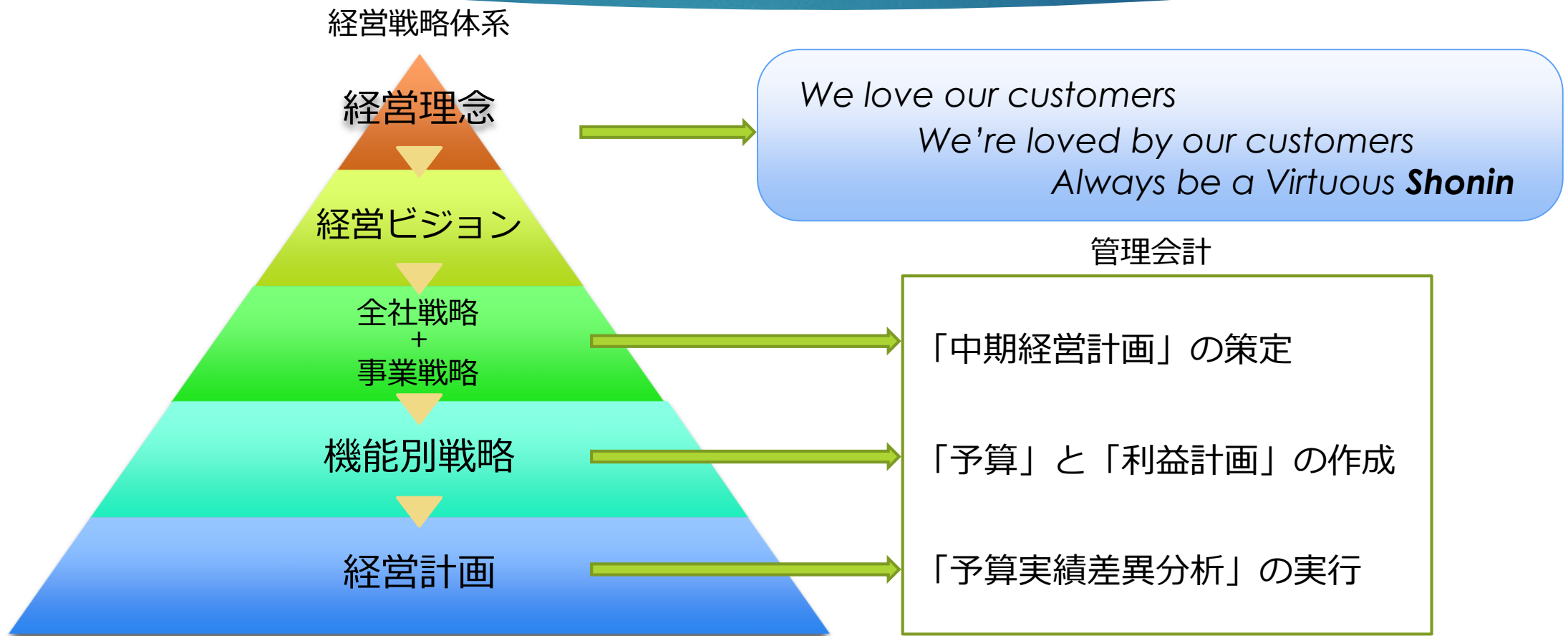
Virtue as a Shonin

It is important for us to have Virtue as a *Shonin* in order to secure our customers' approval and support at all times.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

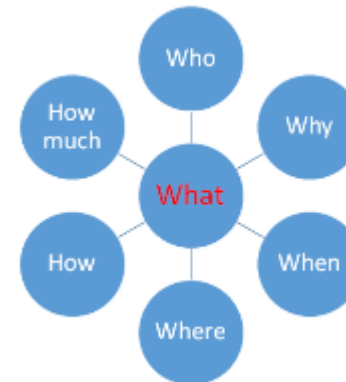
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

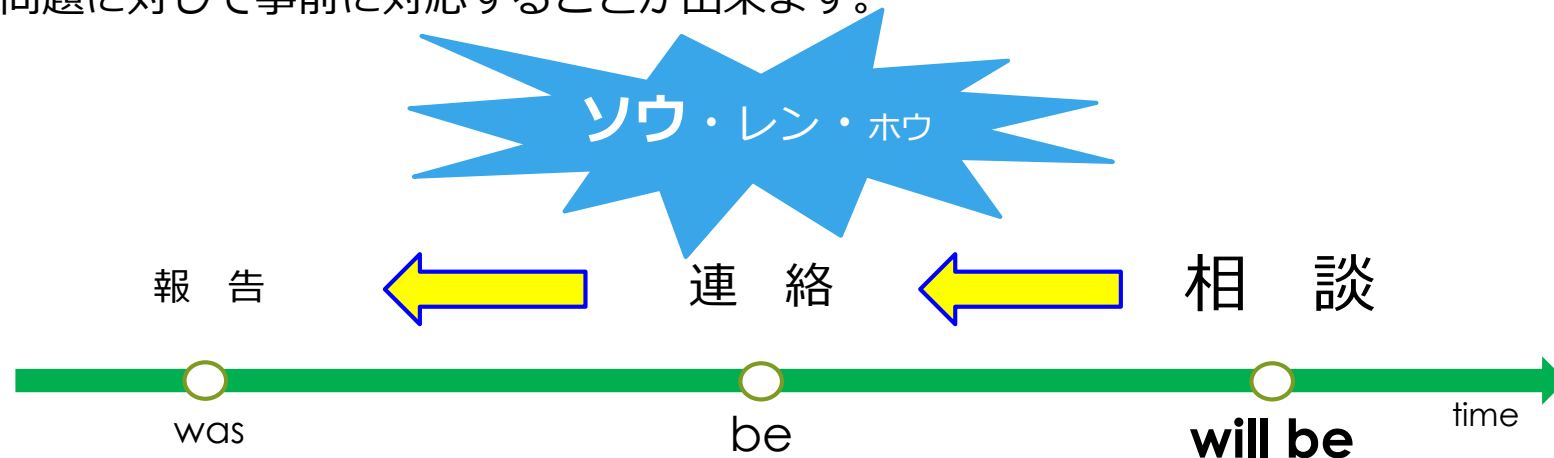


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

サンシン電気 品質管理課 H.O.

今年は、暖かかったり寒かったりの変動が激しく、体調管理が大変ですが、皆様、変わりなくお過ごしでしょうか？
ようやく桜が咲き始め、春を感じてきましたが、桜の開花時期はスギ花粉の飛散ピーク時期でもあり花粉症の方は辛い時期でもあります。
健康に気を付け、季節の変わり目を上手に乗り切っていきたいですね。